安芸 高知県安芸市

戦国の古城を拠点に時代の流れに沿って武家屋敷から大時計へ

START

歴史

鎌倉時代末期に安芸親氏が築城したと伝わる。以降、安芸氏の居城となるが、1569年、長宗我部元親に攻められ落城。江戸時代に入ると土佐藩の家老、五藤為重が配され、一国一城令に伴って城下一帯を「安芸土居（土居廓中）」と称して改修し、内堀に自身の屋敷を建て周辺に家臣の武家屋敷を整えた。

城FILE ❼

安芸城

構造　平山城
築城者　安芸親氏
築城年　1308年
遺構　石垣、堀、土塁

安芸市土居953
◆アクセス／高知自動車道「南国」ICから約1時間

城山頂上付近の本丸跡

ゆかりの武将

安芸国虎　1530年～69年

安芸郡領主の安芸元泰の子として生まれる。土佐を代表する大豪族として一族を率いるものの、長宗我部元親との戦いに敗れ、家臣や領民の命と引き換えに自害した。

約3分

安芸市立歴史民俗資料館 学び
【あきしりつれきしみんぞくしりょうかん】

武具や生活用具、美術工芸品といった五藤家伝来の資料がそろう。また、郷土の歴史を伝える考古遺物や古文書、三菱グループの創業者、岩崎弥太郎や大正・昭和を代表する作曲家、弘田龍太郎など地元出身の著名人に関する資料や遺品も閲覧できる。

◆安芸市土居953　☎0887-34-3706　◆開館時間／9:00～17:00
◆休館日／月曜（祝休日の場合は開館）、12月29日～1月3日
◆入館料／大人330円、中・高生110円、小学生50円 ※土曜は高校生以下無料

土佐湾から安芸川に沿って3キロほど北上すると、緑に覆われた小高い丘が現れる。土佐七豪族の一つに数えられた安芸氏の居城、安芸城の城山だ。一部土塁が残る頂上付近にはかつて本丸御殿があり、安芸平野を一望できたという。

一方で麓には、江戸時代の領主、五藤家によって整備された町割り「土居廓中」が広がる。内堀の景観を形作る石造りの大手門や、初夏にハスの花が咲き誇る水堀も、その際に築かれた。蔵や馬小屋が幾棟も立ち並んだという広大な領主の屋敷は取り壊されたが、再建された母屋と向かいに立つ歴史民俗資料館から、その勢力や藩政時代のにぎわいをうかがい知ることができる。

大手門を抜けて西に歩くこと数分。武家屋敷が連なる通りに出る。瓦ぶきの平屋に自然木の生垣、土用竹、瓦と玉石で作られた塀。道の幅や両脇の溝もそのまま維持され、随所に当時の面影が漂う。

町割りの南の端では明治時代の地主が作成した大時計が姿をとどめ、内堀を囲むように立ち並ぶ民家や地元特産のナスのビニールハウスが現在の人々の暮らしを教えてくれる。

戦国から江戸、明治を経て400余年、歴史のバトンは静かに受け継がれている。

内堀に立つ五藤家安芸屋敷

土居廓中の武家屋敷通り 学び
【どいかちゅうのぶけやしきどおり】

安芸城跡を中心に五藤家が整備し発展させた町割り、土居廓中内の武家屋敷が立ち並ぶ区画で、国の重要伝統的建造物群保存地区。家臣の一人、野村家の居宅は一般公開され、母屋をはじめ便所風呂棟、納屋など江戸時代末期の暮らしをのぞくことができる。

☎0887-34-8344（安芸観光情報センター）

約5分

観光は無料のレンタサイクルが便利。安芸駅ぢばさん市場や安芸観光情報センターなどで貸し出している。

約5分

野良時計（畠中家の櫓時計） らくらくP
【のらどけい（はたけなかけのやぐらどけい）】

明治半ば、一帯の地主であった畠中源馬が製作。米国製の時計を分解して製造や原理を独習し仕組みを覚え、分銅や歯車といったパーツも全て手作りした。遠方からでもよく見え、周辺で農作業をする人たちが時間の確認に役立てたとされる。

◆安芸市土居638-4　☎0887-34-8344（安芸観光情報センター）

市内には、弘田龍太郎が作曲した「春よ来い」「叱られて」「靴が鳴る」をはじめとする曲碑10基が点在する。

約15分 or 約7分

岩崎弥太郎生家 らくらくP 学び
【いわさきやたろうせいか】

岩崎弥太郎の曾祖父が1795年ごろに建築した約30坪のかやぶきの平屋。弥太郎が生まれた部屋や三菱のマークの原型になったという岩崎家の家紋が入った鬼瓦も残る。また、庭には12、13歳の時に日本列島を模して作ったとされる石組みもあり、10代にして「日本列島はわが庭の内にあり」との言葉を残したという逸話も。

◆安芸市井ノ口甲一の宮
☎0887-34-8344（安芸観光情報センター）

農家の構えをしていますが、武家特有の玄関もあり、半農半士の暮らしを感じさせます。弥太郎は出たり戻ったりしつつ27歳前後までここを拠点にしたそうです。死後も一族の原点として岩崎家が維持・管理しています。

安芸市観光ボランティアガイド
根木勢介さん

岩崎弥太郎生家前のまる弥カフェでは、地元の県立安芸桜ケ丘高校の生徒と考案した「なすのプリン」（220円）など、特産品を使ったオリジナル商品や土産物を販売。

お土産

注目スポット

散策途中に立ち寄り 2種のちりめん丼に舌鼓 廓中ふるさと館

土居廓中内にあり、釜ゆでのちりめんじゃこに大根おろし、ミョウガを添えた「ちりめん丼」（小鉢、香物、みそ汁が付いて950円）や、じゃこと野菜のかき揚げを載せた「かき揚げちりめん丼」（1,050円）などが人気。特産品や土産物の販売も。
※ご当地グルメ「釜あげちりめん丼」は、市内16店舗がそれぞれの趣向で提供している

◆安芸市土居1017-1　☎0887-34-0701
◆営業時間／9:00～17:00（ランチ11:00～15:30）　◆休業日／月曜（祝日の場合は営業）

城下町の名物

200年を誇る技術を体験できる陶芸施設 体験 内原野陶芸館

江戸時代末期に五藤家によって興されたと伝わり、素朴で重厚な風合いが特徴の内原野焼。その伝統を守る陶芸館では、作陶見学や作品販売のほか、手びねり、絵付けなどの体験も行っている。

◆安芸市川北乙1607-1　☎0887-32-0308
◆開館時間／9:00～17:00　◆休館日／水曜、年末年始　※体験のメニュー、料金などは要問い合わせ

岩崎弥太郎生家には、土曜、日曜、祝休日にボランティアガイドが常駐。依頼すれば丁寧に解説してもらえる。